



学校だより 9月号

- 教育目標
- 1 深く考え、進んで学習する
 - 2 責任を重んじ、規律正しく行動する
 - 3 心身を鍛え、情操豊かにする

校長：大平達也

港区西麻布4丁目14番8号 TEL: 03-3409-7687

港区立 高陵中学校 Koryo Junior High School

「さらなる挑戦を・・・」

校長 大平 達也

長い夏休みが終わり、二学期が始まりました。少し日焼けした生徒、体が大きくなった生徒、たくさんの体験をして少したくましく見える生徒など、みんな元気な顔で登校している姿を見て安心しました。

7月末に、2年生の夏季学園が行われました。ラフティング体験では、緩やかな川の流れと急流を体験し、川の様々な表情を身をもって体験しました。また、火おこしの難しさ、雪国ならではの雪室（雪をためている倉庫）、そして、農業の大変さを体験しました。暑い中の田んぼの手入れや次に植える作物の下準備など、食べ物が料理として自身の口に入るまでにはとてつもない苦労があることを学んだと思います。それぞれの体験を真剣に取り組んだ2年生の横顔は、とても輝いていました。

さて、多くの学習がある2学期を迎えるにあたり、意識してほしいことを2つお話します。

①『自ら進んで学習に取り組む』

この夏休みは、いつものように各教科の多くの宿題がでるという形式をやめ、夏休み明けの確認テスト等を目標に、個々で目標を設定し進めていくというものに変えています。学習は、教える、教わるというものだけではなく、自分から情報を収集し、それを試行錯誤しながら生かしていくことも重要な学習方法であると考えます。そして、これからは特に、この方法で進めていける人材を社会は求めているのかもしれない。もしもこの夏休みに計画通りに行えなかった人は、その原因をしっかりと分析し、次の取組の際には同じことを繰り返さないように修正していきましょう。失敗しても、それを修正し、次に生かすことができれば、それは成長したということになります。

また、学校だけではなく、地域の方をはじめ、企業の方や観光客、外国の方々等、多くの人たちとのコミュニケーションを通して、多様な歴史や文化、考えに触れ、そして、自国のことや自身の考えを伝えられるようになってほしいと思っています。

②『学校を歌のあふれる場にする』

2学期は、運動会に続き、各学級で取り組む合唱コンクールがあります。運動会に向けての準備では、工夫しながら短い期間で大きく変化しました。様々な刺激を受け、新しいものに挑戦した成果だと思えます。これから始まる学芸発表会に向けての準備も、各学級工夫しながら挑戦をし続けてほしいと願っています。

まずは、歌にのせて伝えたいことを思い浮かべ、それをメッセージとして届けられるように、練習をしていきましょう。学校中に歌声が響き、心豊かになっていくとともに、今後の高陵中がますます歌で伝えていける学校、歌で伝統をつないでいける学校にしていきましょう。

地域の皆様には、夏休みの期間、地域でのキャンプや各施設での取り組みなど、子供たちが大変お世話になりました。これから始まる2学期には、子供たちが活躍する場がたくさんあります。ぜひ、発表にたどり着くまでの過程や当日の発表など、学校にお越しいただきご覧いただければ幸いです。

今後どうぞよろしくお願いいたします。

◎ 「東京都教育委員会児童・生徒等表彰」

(リマインド)

令和5年9月1日までの提出期限でした。

希望者は、9月6日までに担任にお知らせください。

◎ 「今後の予定」

9月 1日(金) 始業式、引取訓練

9月 9日(土) 海外派遣報告会

9月10日(日)～12日(火)

修学旅行、13日(水)は振替休業日

9月16日(土) 土曜授業

「道徳授業地区公開講座」

9:45～10:35 各学級道徳研究授業

10:40 生徒下校

10:50～12:00 協議会(多目的室)

協議会参加者 教職員、保護者、地域の方々

「学校説明会、オープンキャンパス」

8:45～10:35 公開授業

14:00～14:30 学校説明会

14:30～15:30 部活動見学

9月26日(火) 区連体、給食試食会

「区連体」(2年生)

国立競技場会場

開会式 9:00～9:15

競技 9:30～

9月28日(木)、29日(金) 中間考査

10月14日(土) 土曜授業、防災訓練

10月21日(土) 学芸発表会

23日(月)は振替休業日

◎ 「生徒の活躍」

・ バレーボール部(男子)

港区新人戦シード権大会 第3位

◎ 「夏季学園」

7月26日～28日の3日間、新潟県十日町市にて夏季学園を実施しました。夏季学園は昭和41年度から継続実施している港区伝統の行事で、自然や文化などに親しめる体験学習や集団生活を通して、豊かな人間関係の形成を行うのが目的です。初日のラフティング体験では、インストラクターの方に元気をもらいながら、漕ぎ方やかけ声を教わりました。流れが穏やかな信濃川では、乗り合わせた全員が息を合わせて漕がないと前に進みません。同じ目標に向かう大変さや達成感を味わうことができました。2日目は、地元農家の方にお世話になり、農村生活体験をしました。体験といっても農家の一員として働きます。おいしい採れたての農作物を食べながら、日頃食べている食べ物のありがたさを改めて感じたようでした。その他にも友禅やつる細工のものづくり体験、火おこし体験や雪室見学、現地の方の温かさに触れ、日頃は体験できない自然や文化を大いに感じた3日間でした。